日　時　４月２３日（月）

テーマ　「地域の方々に支えられている７２才になった第五小学校」

　新学期が始まり、２週間が過ぎました。今週から１年生も一緒に全校朝会に参加します。しっかり校長先生や週番の先生のお話を聞いて、１週間を過ごしてください。

　さて、先週は地域の見守りボランティアの方々にご挨拶いただいたので、お話できませんでしたが、４月１５日は第五小学校の開校記念日でした。今年、７２才になりますが、第五小学校には二つの歴史があって、始まりは、源正寺そして延命寺のお寺の学校、寺子屋から始まり、１４０年以上の歴史があること。その後、小学校から今の中学校くらいにあたる高等小学校に変わったので、小学校としての歴史が止まったこと。第二次世界大戦中には、学校にも爆弾が落とされたこと。昭和２１年、７１年前に新たに第五小学校がスタートしたこと。開校したころは、窓ガラスもない教室で勉強していたこと、地域や保護者の皆さんが学校をよくするために一生懸命に活動されたことをお話しました。

　さて、第五小学校の歴史について、考えたとき、昨年は、桜の木が校舎の北側にあったお話をしました。校舎の北側に校門があって大きな桜が植えてあり、皆さんを迎えていたことがわかりました。今年、もう一つ伝えたいのは、校門の横に堂々と立つ、五小のシンボルツリーであるヒマラヤスギです。こんな大きくて立派な木のある学校は多くありません。五小のみんなを見守ってくれているようですね。

　学校には、これまでのいろいろな出来事、歴史というものがあって、その時、その時にいた先生方や子供たちや地域・保護者の方々が学校をよくしようとがんばってきた上に、いまの私たちがいるのです。その気持ちが表れている例を紹介します。５月を迎えるにあたって、先生たちの玄関には、五月人形が二つ、主事室の横には立派なかぶと、そして、校庭には大きなこいのぼり。すべて地域の方が、五月の節句のお祝いにプレゼントしていただいたものです。学校をよくしよう、五小の子供たちのために何かをしようという気持ちからいただいたものです。本当にありがたいことです。７２回目の誕生日を迎えた第五小学校のみなさんに、その思いを知ってほしいと思いました。地域に皆さんに支えられてきた学校の歴史を知ることは、今の自分たちの行動を考えることになると思います。

今の、これからの五小の歴史をつくっているのは皆さんなのです。つまり、よりよい学校をつくっていくの皆さんです。開校記念日にあたり、考えてみてください。お話を終わります。